

令和元年度 技術交流「有限要素法を用いた解析技術」

技術交流会「有限要素法を用いた解析技術」の開催について

核融合科学研究所技術部では、各大学／研究機関の技術職員による、装置の設計・製作の現場で得た知見や、制御プログラム開発における技術情報の共有等を目的として、今後の技術向上・研鑽に資する「技術交流」を実施してきました。昨年度は「有限要素法による構造解析技術」をテーマとした技術交流会を企画し、多くの方々と議論することができました。

そこで今年度も、シミュレーション技術をテーマとした技術交流会を開催したいと思います。広く有限要素法を用いた解析技術をテーマに講演（口頭発表）を募集します。

本交流会を通じて、若手技術者の人的ネットワークを構築することも目的としております。もちろんベテランの方もあわせ、数多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

また本交流会で講演される方には、弊所から交通費・宿泊費を支給いたします。尚、講演件数及び予算に制限がありますので、講演申し込みが多数となった場合には、事前に予稿（300字程度）の内容を弊所担当者で審議し、採択させていただきます。

技術交流会開催要項

1. 開催日時、場所

日時：令和2年2月21日（金） 午後1時40分～午後5時30分

場所：核融合科学研究所 シミュレーション棟1F会議室(予定)

2. 講演申込期限

発表：令和元年12月13日（金）

参加（聴講）：令和2年1月24日（金）

WEB会議ツール「ZOOM」参加：令和2年1月24日（金）

参加希望の方は、必要事項を記入の上、下記Eメールアドレスまでご連絡ください。

担当窓口：tech-meeting@nifs.ac.jp 村瀬尊則

【必要事項】

- ・機関名：
- ・部署名：
- ・お名前（漢字・フリガナ）：
- ・参加形態（口頭発表／聴講／WEB会議ツール）：
- ・Eメールアドレス：
- ・口頭発表者希望の方

予稿：発表題目及び講演内容を300字程度にまとめて記載してください。

3. 技術交流会は、WEB会議ツール「ZOOM」にて配信について。

WEB会議ツール「ZOOM」にて、技術交流会を配信する予定です。ノートPC（マイク、カメラ、スピーカ付き）PCとネットワークの環境があれば可能です。配信希望の方へは、配信（参加）方法等をEメールにて後日案内を差し上げます。

4. 講演形式

口頭発表

※発表時間：20分（発表15分、質疑応答5分）

※内容は構造に関わる有限要素解析（流体や磁場との連成解析も可）とします。

5. プログラム

※発表者数によって、スケジュールは変動する可能性があります。

13:40～13:45 開会のご挨拶と案内

13:45～14:45 口頭発表および質疑応答（3名）

14:45～15:00 休憩

15:00 ～ 16:00 口頭発表および質疑応答（3名）

16:00 ～ 16:15 休憩

16:15 ～ 16:55 口頭発表および質疑応答（2名）

16:55 ～ 17:30 技術討論と最後の挨拶

6. 講演テーマ

テーマ「有限要素法を用いた解析技術」

有限要素法による解析の大半は設計検証、あるいは性能や品質の向上を目的に実施されます。しかし実際の業務では、設定した解析条件が正しいのか？解析結果の信用性は？という不安要素もあり、得られた結果をそのまま実製品に反映しづらい場合も多くあります。それでも限られたリソースと期間の制約下の中、適切な性能と品質に作り込むことが常に求められるのが実状です。そこで今回は有限要素法による解析全般に焦点を当て、機関・分野の枠を越えた解析事例における分析や考察を通して、設計の問題点を抽出する考え方を学び、参加者同士が交流する場を提供することを目的とします。

具体的には、

- 有限要素法解析の活用事例
- 業界特有の解析に関する課題や制約条件
- 熱、流体解析、電磁力解析と構造解析を複合的に考慮した連成計算
- 対象分野は限定せず、例えば、環境、空調、電気・電子機器、エネルギープラント、ナノテク、半導体・燃料電池、化学プロセスなど、幅広く募集します。

7. 旅費

聴講の方は、各所属機関での旅費のご用意をお願いいたします。発表者には、交通費および宿泊費を支給します。尚、講演件数及び予算に制限があるため、講演申し込みが多数となった場合には、事前に予稿内容を担当者で審議し、採択します。